



ハザードマップ

洪水編

この地図は、約1000年に一度の大雨による浸水を想定し、市内の浸水が想定される各河川について浸水シミュレーションを行い、その結果より最大となる浸水域・浸水深を抽出し表示したものです。

対象河川 阿久比川水系(24時間総雨量821mm)、
稗田川水系、神戸川水系、
石川水系、須賀川水系(24時間総雨量836mm)

参考 過去の災害時の24時間累加雨量 東海豪雨499mm

【避難先となる建物の一部(又は全部)が浸水する可能性がある指定避難所】
半田小学校、住吉公民館、青山記念武道館、板山公民館

【土砂災害にて(避難所敷地の一部が)危険区域となる指定避難所】
亀崎小学校、有脇小学校

なお、避難の際は、避難所の開設状況を市ホームページなどで確認してください。
※洪水編の最終ページ(57ページ)に補足説明があります。

ステップ
1

洪水の危険性を知る

自分の位置を詳細地図 (P31~56) で確認してください

※自宅だけでなく、職場、学校、親せきの家なども確認しておいてください。

そこは浸水しますか

いいえ

その場で安全確保

※雨の降り方によっては、浸水区域ではない場所でも浸水が発生する場合があります (内水はん濫等)。気象情報や周辺の状況などを確認し、より安全な行動をとってください。

はい

どれくらい浸水しますか

周辺の浸水が深い場所も、チェックします。

- 0.5~3m
- 3m以上
- 5m以上

床上浸水の恐れ

0.5m未満

概ね床下浸水の恐れ

※0.5mの浸水でも徒歩での避難は難しくなります。

避難先

安全な場所へ

避難所だけでなくも
親せきや知人の家など
安全な場所へ避難

避難所へ避難

浸水の可能性がない
避難所へ避難

垂直避難

自宅のより高い所や
安全な場所へ避難

避難までの
時間が無く、
外に出ることが
危険な時

自分が歩いて逃げられそうな避難先を何か所か考えましょう

ステップ
2

ステップ
2

避難先の決定と 避難経路の安全確認

ステップ1で考えた近くの避難先を確認しましょう

避難先までの安全性をチェックしましょう

「ある」が一つでもあったら、別の避難先を検討

各項目を
確認!

チェックシート

- 途中に大きな川や水路はありませんか?
- 途中に深い浸水箇所 (0.5m以上) はありませんか?
- 途中に崩れそうな斜面はありませんか?

- 0.5m未満
- 0.5~3m
- 3m以上
- 5m以上

あなたが逃げる避難先を書きましょう

避難先

(避難にかかる時間*)

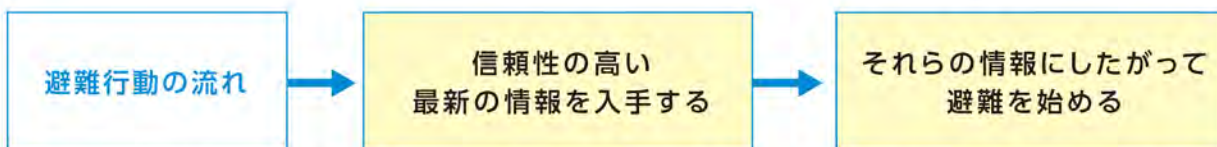
1	(分)
2	(分)
3	(分)

危険性の低いと思われる順に書いてください。 *時間の目安は、詳細地図の右下に示しています。

ステップ
3

ステップ
3

避難を始めるタイミングを考える



災害時には、第2章の「情報収集手段(P3)」を参考に最新の情報を入手して、安全に避難するために活用してください。市から避難情報が発表されるまでに災害が起こることもあります。気象情報や周りの状況等に注意し、危険を感じたらすぐに命を守る行動をとりましょう。

浸水発生時の情報と命を守る対応

災害時の情報		みなさんの命を守る対応
警戒レベル 1	気象庁が発表 早期注意情報	→ 災害への心講え 気象情報に注意
警戒レベル 2	気象庁が発表 洪水注意報、大雨注意報等	→ 避難行動を確認 ● ハザードマップで避難経路を再確認 ● 気象情報に注意
警戒レベル 3	半田市が発表 高齢者等避難 警戒レベル 3 相当 国土交通省・気象庁・愛知県が発表 はん濫警戒情報、洪水警報等	→ 高齢者等(避難に時間を要する人)や避難先まで時間がかかる人は避難 ● 親せき、知人宅など、より安全な場所へ ● 市が開設した避難所へ ● 避難指示に備えて非常持出袋を再確認 ● 水位情報に注意
警戒レベル 4	半田市が発表 避難指示 警戒レベル 4 相当 国土交通省・気象庁・愛知県が発表 はん濫危険情報、土砂災害警戒情報等	→ 発表された地域の全ての人が避難 避難の途中で危険を感じたら、近くの安全な場所へ ● 親せき、知人宅など、より安全な場所へ ● 市が開設した避難所へ
浸水発生	半田市が可能な範囲で発表 緊急安全確保 何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況です。	→ 命を守る最善の行動 命の危険が迫っているため、直ちに身の安全を確保してください すでに安全な避難ができず、命が危険な状態です。今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動してください。
警戒レベル 5	警戒レベル 5 相当 国土交通省・気象庁・愛知県が発表 はん濫発生情報、大雨特別警報等	

! ステップ1からステップ3で確認したことを、このページに整理しましょう。

わたしたちの 災害への備え

想定される最大級の雨が降った時、わたしの場所は
浸水 (します ・ しません)

その時、浸水の深さは _____ mになる恐れがあり、
_____ になります

浸水により予想される状況を記入
(例) 床下浸水・床上浸水・一階がつかるくらい

ステップ2であげた
一番危険性の低いと思われる避難先

自宅が危険な時は _____ へ逃げます

それまでにかかる時間は _____ 分くらいです

※時間の目安は、詳細地図の右下に示しています。

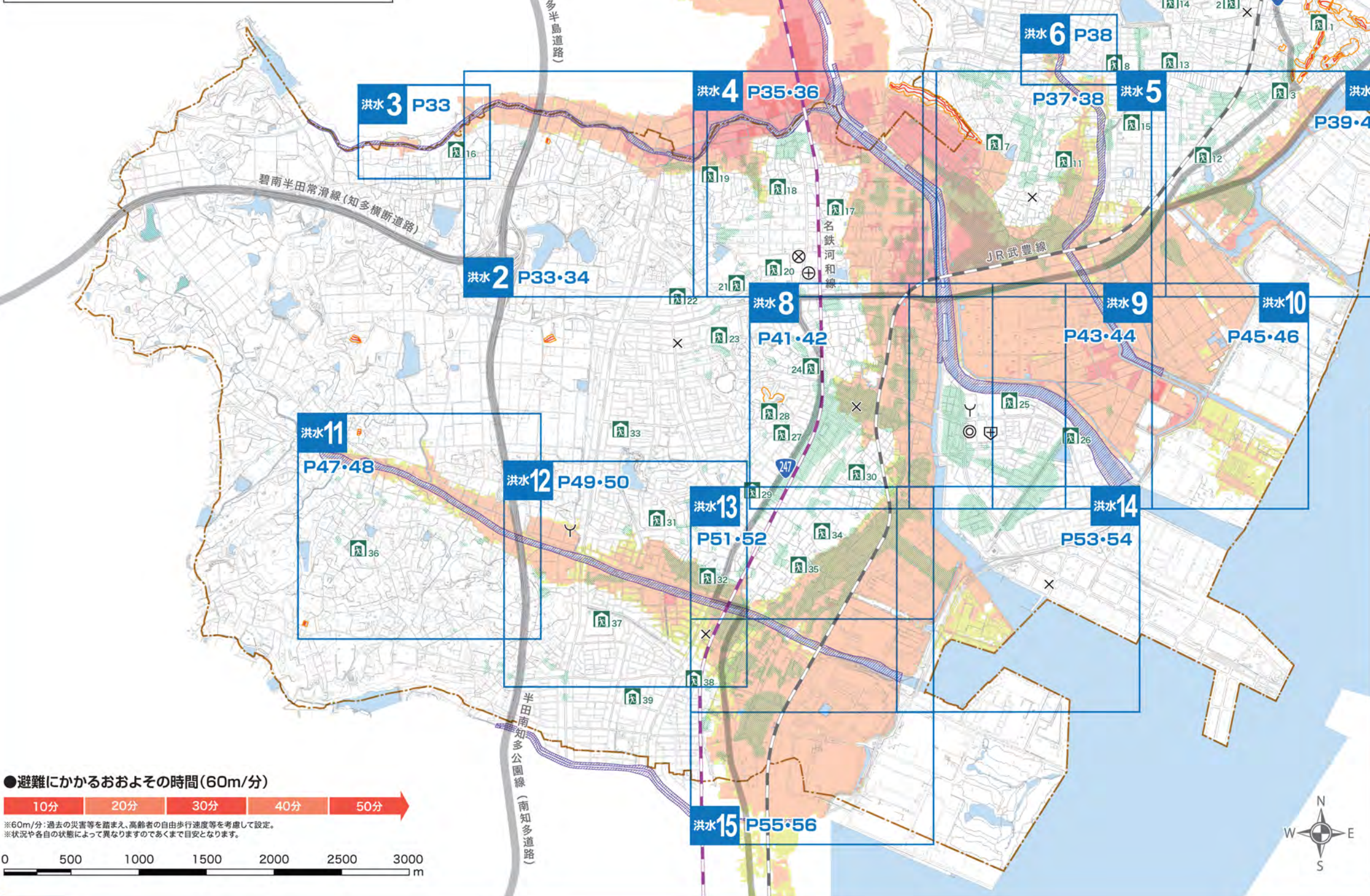
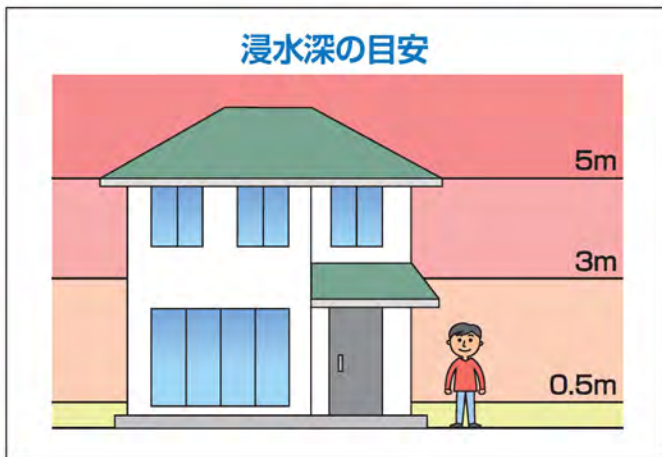
万が一に備え、ステップ2であげた避難先の2と3もメモしておきましょう

わたしたちは、警戒レベル _____ で避難行動をとります

(例) わたしたちは、警戒レベル 4 で避難行動をとります

! このページを、写真に撮ったりコピーするなどして、家族全員がいつでも確認できるようにしておきましょう。

洪水ハザードマップ 全体図



避難所一覧

番号	施設名	所在地
1	亀崎小学校	亀崎月見町3-10
2	亀崎中学校	亀崎高根町5-40
3	亀崎公民館	亀崎町7-96-1
4	有脇公民館・有脇小学校	有脇町5-1-1
5	半田高等学校	西生見町30
6	日曜大衆センター	東生見町26-2
7	乙川公民館	乙川西ノ宮町3-59-1
8	乙川中学校	大池町3-1
9	上池公民館	上池町5-44-1
10	横川小学校	大伝根町1-11-1
11	乙川小学校	乙川北側町1-1
12	新居区民館	新居町2-63
13	平地公民館	平地町2-50-1
14	高根保育園	平地町5-30-2
15	乙川東小学校	花田町3-1
16	修農公民館	平井町7-43
17	半田中学校	岩滑東町5-80
18	岩滑公民館	岩滑中町5-20
19	岩滑小学校	岩滑高山町5-55
20	半田高等学校	出口町1-30
21	半田農業高等学校	椋町1-1
22	半田工科大学	椋町3-1
23	雁宿小学校	清城町1-5-2
24	雁宿ホール	雁宿町1-22-1
25	さくら小学校	東洋町1-12-1
26	瑞穂記念館	瑞穂町3-1-6
27	半田商業高等学校	白山町2-30
28	協和公民館	白山町4-122
29	成岩中学校	昭和町3-8
30	協和区民館	協和町2-112
31	西成岩公民館	富本町4-106-8
32	西成岩区民館	東郷町2-104
33	宮池小学校	南二ツ坂町2-1-1
34	成岩小学校	成岩本町2-1
35	成岩公民館	成岩本町4-5
36	板山小学校	四方木町37-1
37	青山中学校	青山5-6-1
38	神戸公民館	花園町1-12-2
39	花園小学校	花園町3-5-1

※避難先となる建物の一部(又は全部)が浸水する可能性がある指定避難所は記載していません。

凡例

- 想定される浸水深
- 5.0m以上～10.0m未満の区域
 - 3.0m以上～5.0m未満の区域
 - 0.5m以上～3.0m未満の区域
 - 0.5m未満の区域
- 浸水実績 ※平成2-3-6年および12年(東海豪雨)の浸水範囲を重ね合わせたもの(内水はん濫等も含む)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)
 - 土砂災害警戒区域
 - 土砂災害特別警戒区域
 - 行政区画界
 - 避難所

避難にかかるおおよその時間(60m/分)

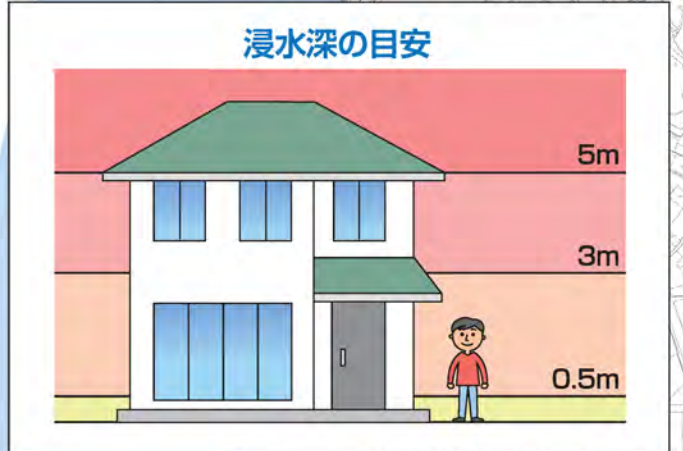
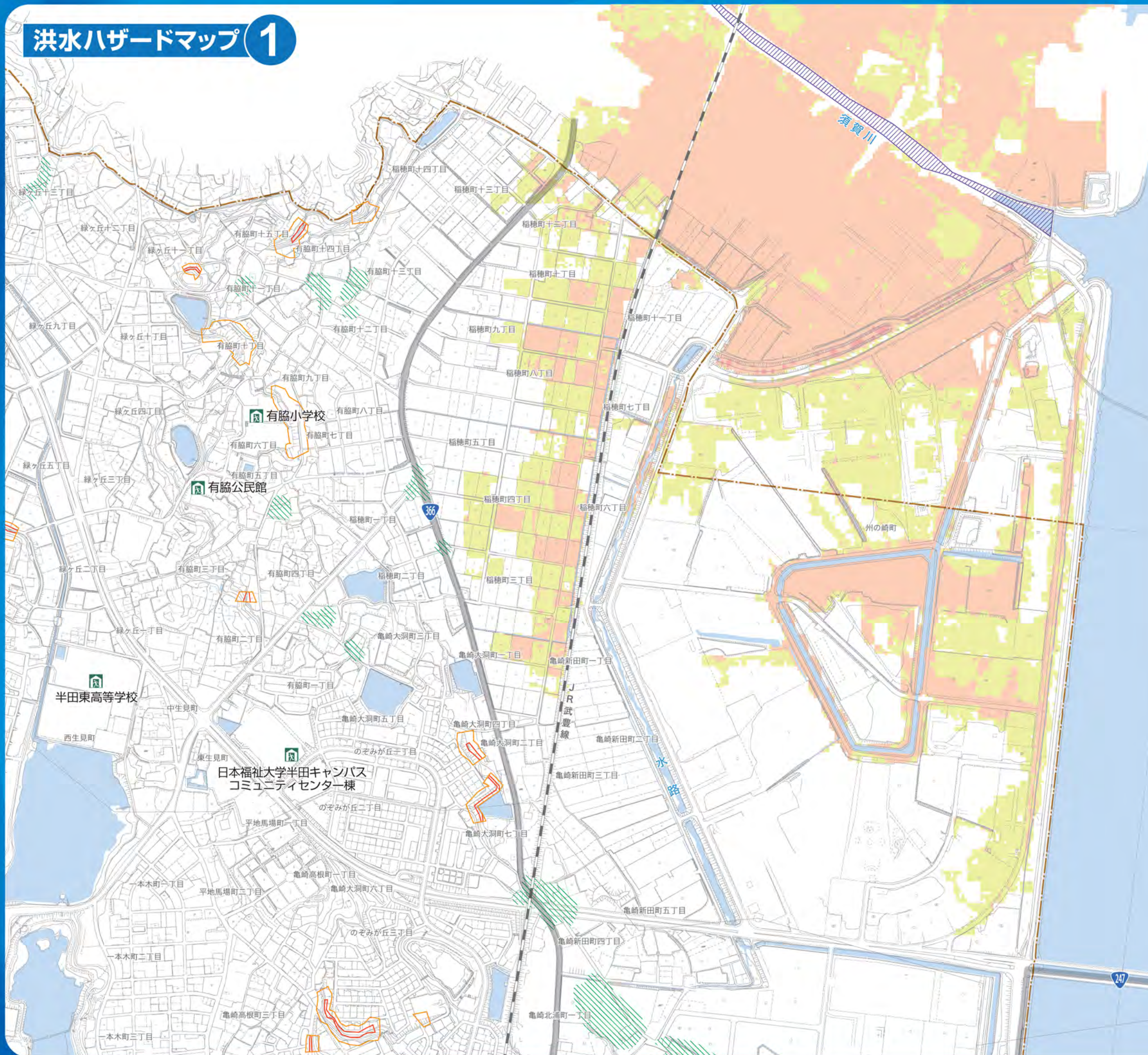


※60m/分:過去の災害等を踏まえ、高齢者の自由歩行速度等を考慮して設定。
※状況や各自の状態によって異なりますのであくまで目安となります。



※浸水の深さに関わらず、立ち退き避難が原則となります。(避難までの時間が無く、外に出ることが危険な時は垂直避難も可)
※最新の避難所開設状況を確認してください。

洪水ハザードマップ 1



凡例

想定される浸水深

- 5.0m以上～10.0m未満の区域
- 3.0m以上～5.0m未満の区域
- 0.5m以上～3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

浸水実績 ※平成2・3・6年および12年(東海豪雨)の浸水範囲を重ね合わせたもの(内水はん濫等も含む)

家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

土砂災害警戒区域

土砂災害特別警戒区域

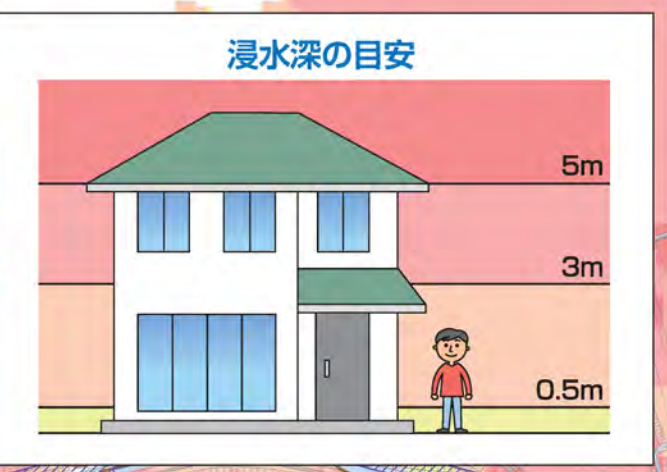
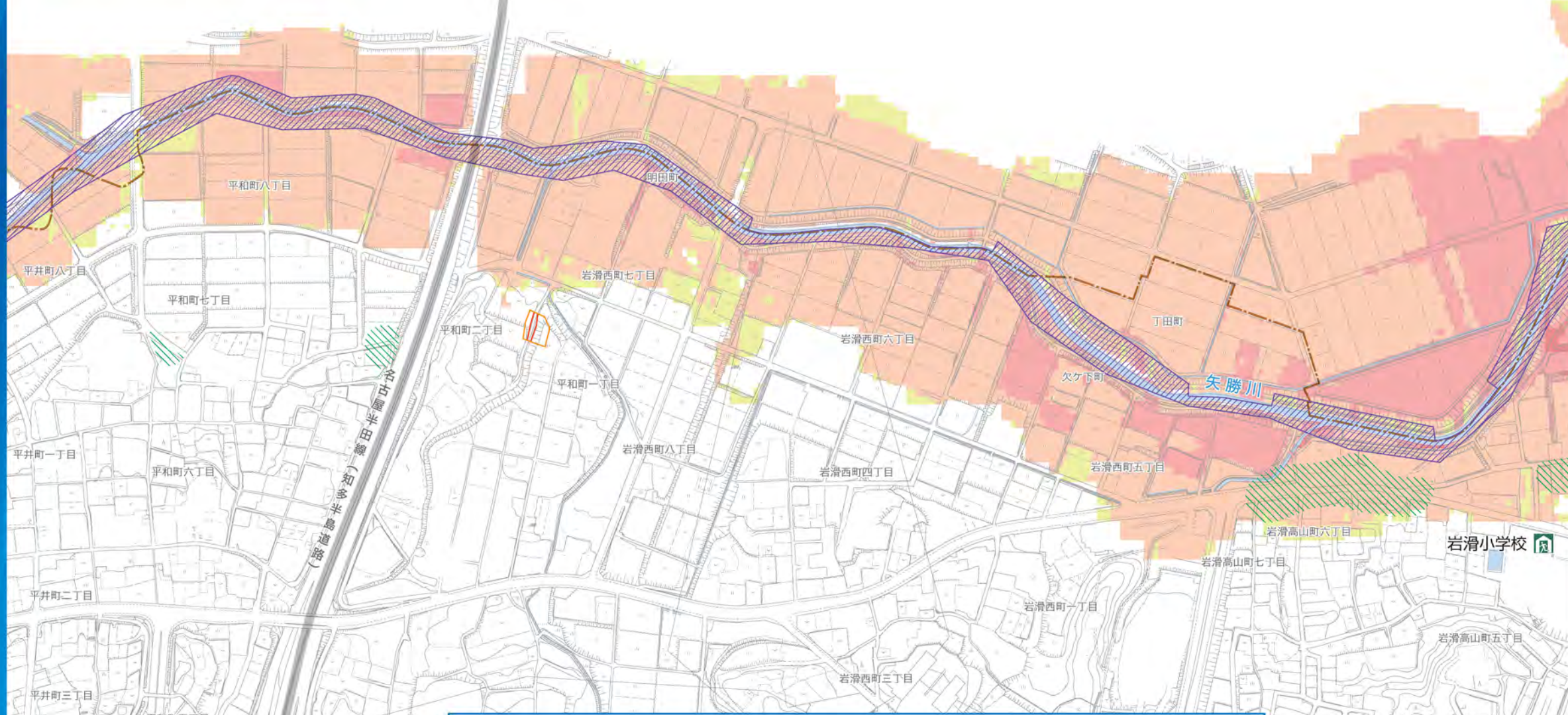
行政区画界

避難所

※浸水の深さに関わらず、立ち退き避難が原則となります。(避難までの時間が無く、外に出ることが危険な時は垂直避難も可)
 ※最新の避難所開設状況を確認してください。



洪水ハザードマップ 2



凡例

想定される浸水深

- 5.0m以上～10.0m未満の区域
- 3.0m以上～5.0m未満の区域
- 0.5m以上～3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

浸水実績 ※平成2・3・6年および12年(東海豪雨)の浸水範囲を重ね合わせたもの(内水はん濫等も含む)

家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

土砂災害警戒区域

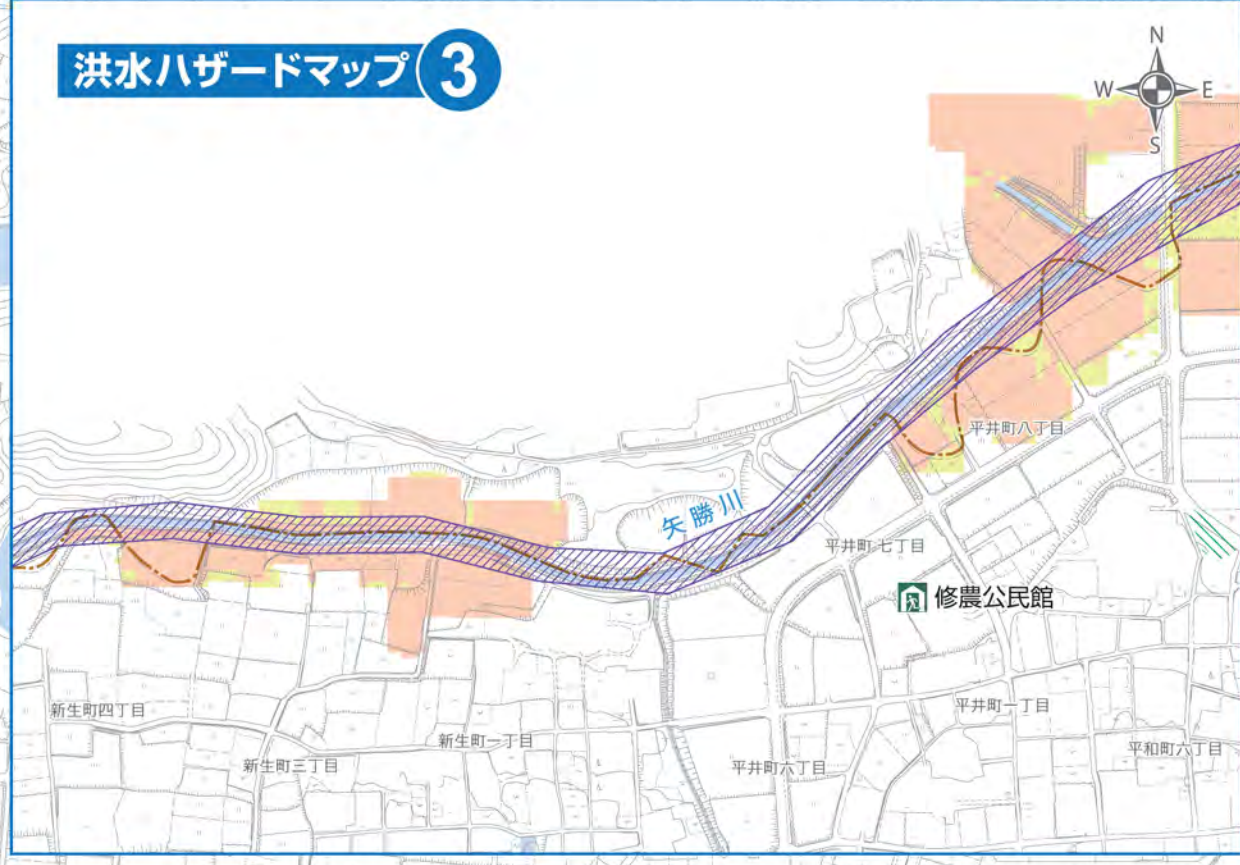
土砂災害特別警戒区域

行政区画界

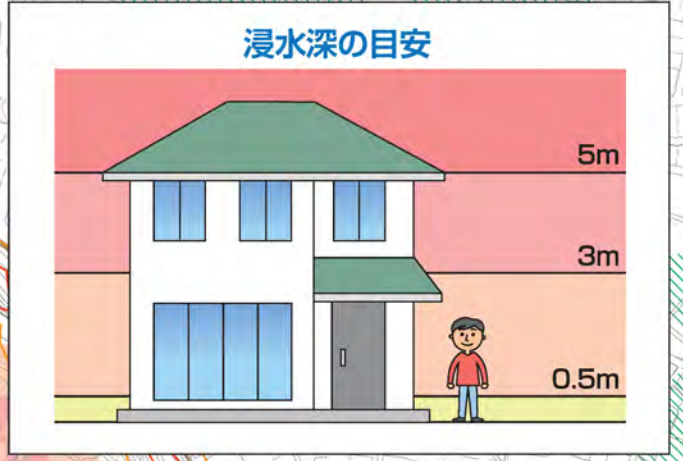
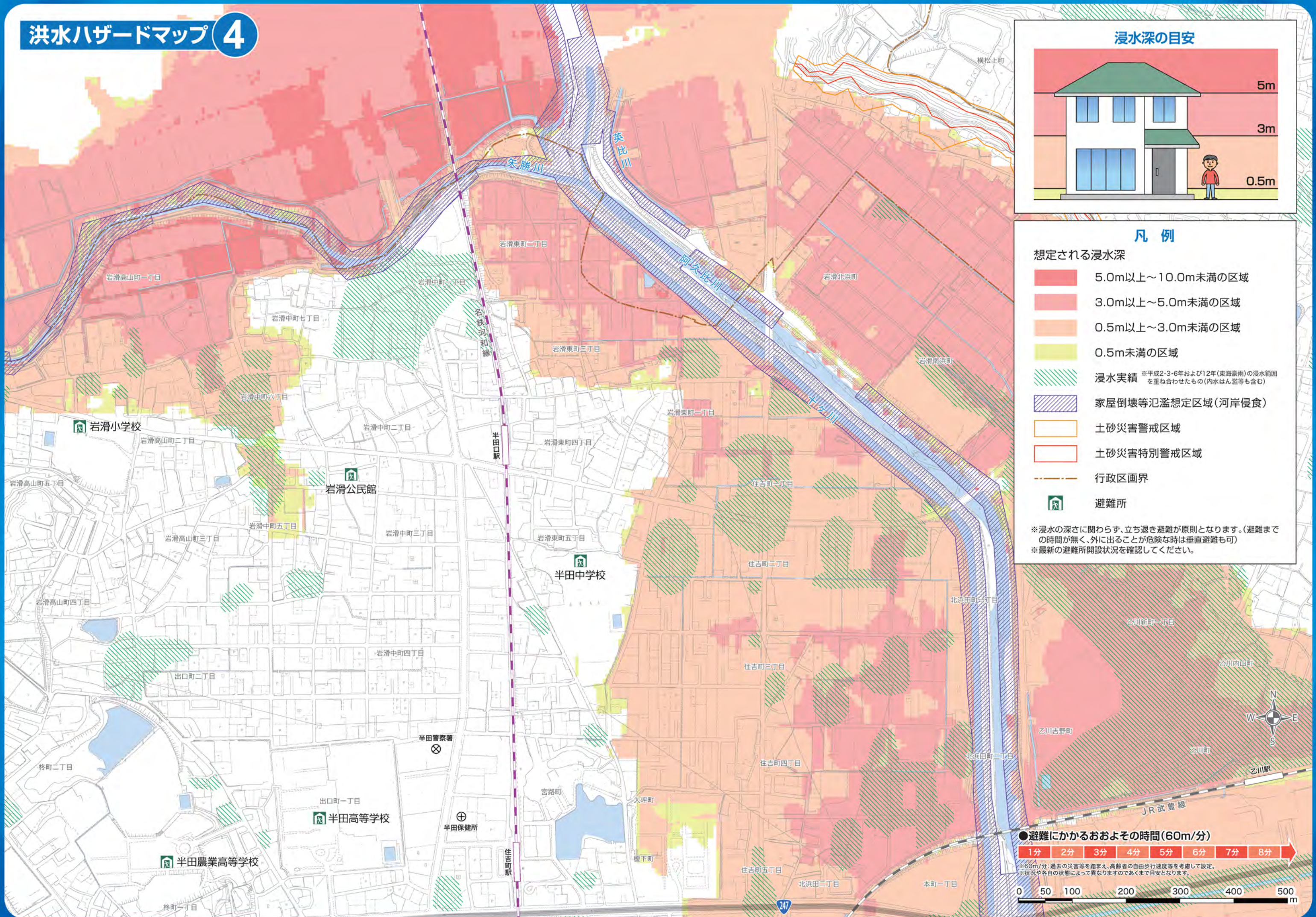
避難所

※浸水の深さに関わらず、立ち退き避難が原則となります。(避難までの時間が無く、外に出ることが危険な時は垂直避難も可)
 ※最新の避難所開設状況を確認してください。

洪水ハザードマップ 3



洪水ハザードマップ 4



凡例

想定される浸水深

- 5.0m以上～10.0m未満の区域 (Dark red)
- 3.0m以上～5.0m未満の区域 (Red)
- 0.5m以上～3.0m未満の区域 (Light red)
- 0.5m未満の区域 (Yellow)
- 浸水実績 ※平成2・3・6年および12年(東海豪雨)の浸水範囲を重ね合わせたもの(内水はん濫等も含む) (Green diagonal lines)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食) (Blue diagonal lines)
- 土砂災害警戒区域 (Orange outline)
- 土砂災害特別警戒区域 (Red outline)
- 行政区画界 (Dashed line)
- 避難所 (Green house icon)

※浸水の深さに関わらず、立ち退き避難が原則となります。(避難までの時間が無く、外に出ることが危険な時は垂直避難も可)
 ※最新の避難所開設状況を確認してください。

避難にかかるおおよその時間(60m/分)

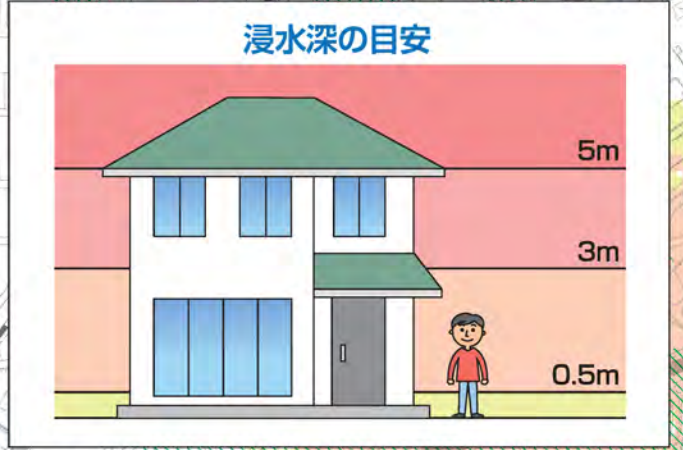
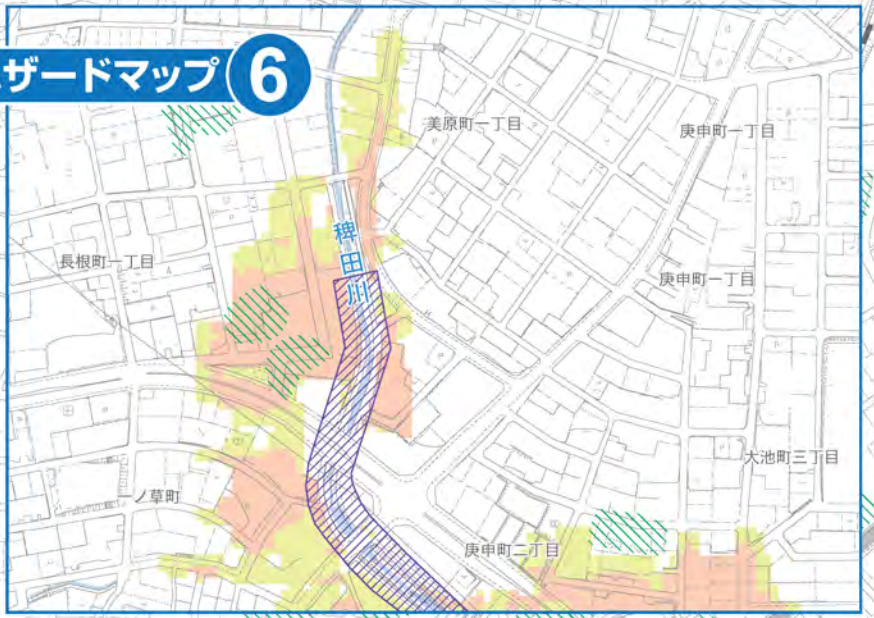
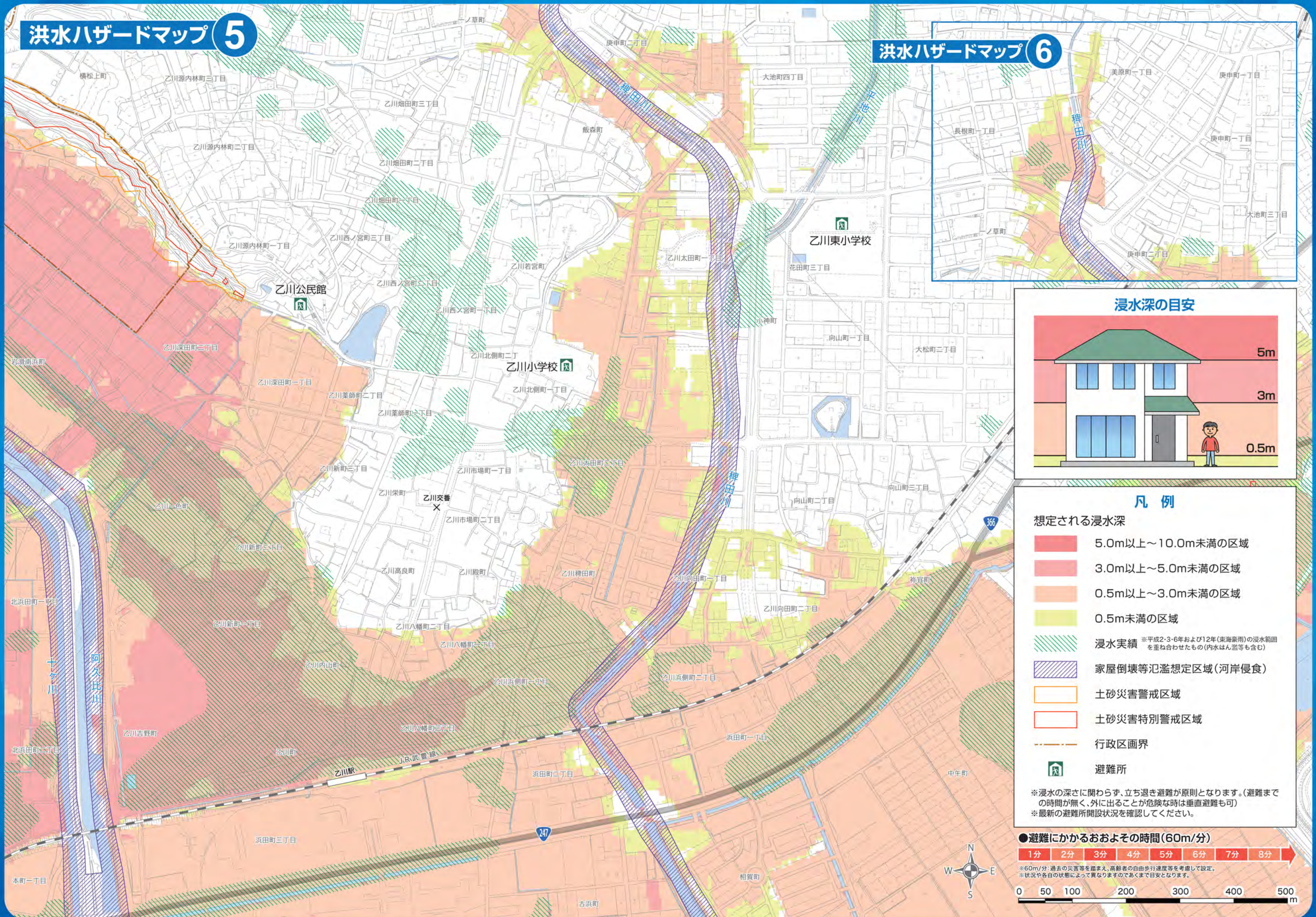
A color-coded bar chart showing evacuation times from 1 to 8 minutes. The colors transition from red (1 min) to orange (2 min), yellow (3 min), light green (4 min), green (5 min), dark green (6 min), blue-green (7 min), and blue (8 min).

※60m/分:過去の災害等を踏まえ、高齢者の自由歩行速度等を考慮して設定。
 ※状況や各自の状態によって異なりますのであくまで目安となります。

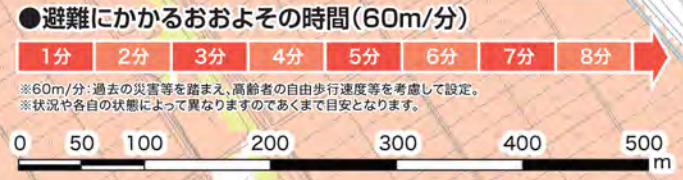
0 50 100 200 300 400 500 m

洪水ハザードマップ 5

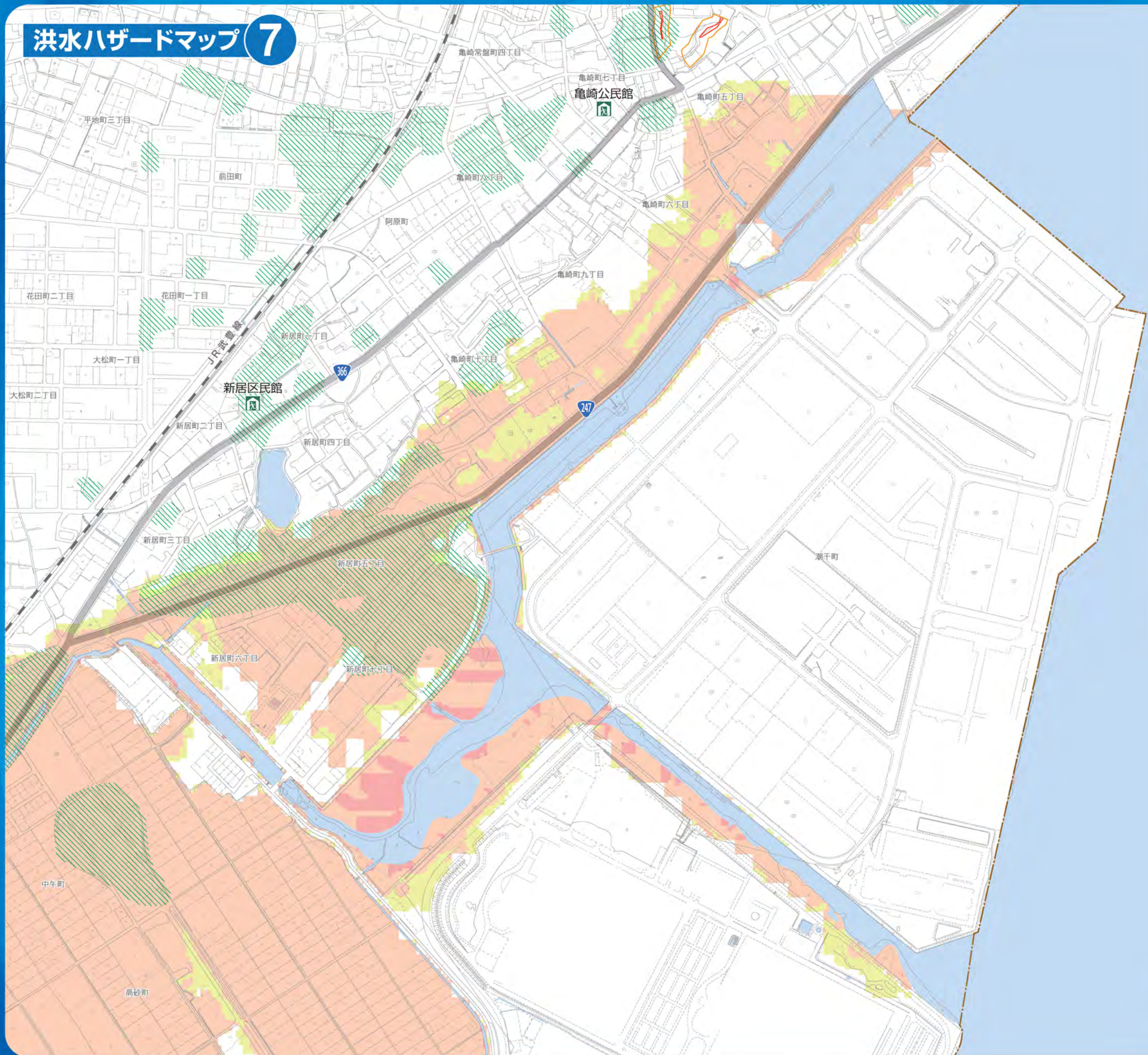
洪水ハザードマップ 6



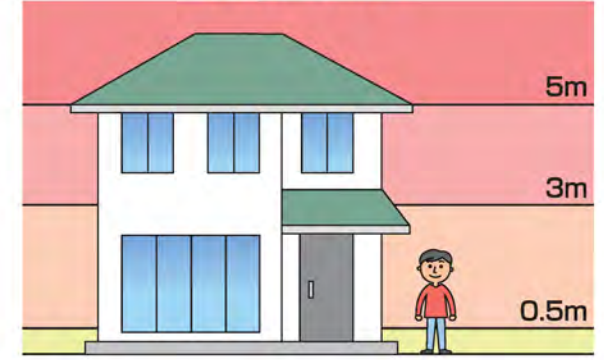
- ### 凡例
- 想定される浸水深
- 5.0m以上～10.0m未満の区域
 - 3.0m以上～5.0m未満の区域
 - 0.5m以上～3.0m未満の区域
 - 0.5m未満の区域
 - 浸水実績 ※平成2-3-6年および12年(東海豪雨)の浸水範囲を重ね合わせたもの(内水はん濫等も含む)
 - 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)
 - 土砂災害警戒区域
 - 土砂災害特別警戒区域
 - 行政区画界
 - 人 避難所
- ※浸水の深さに関わらず、立ち退き避難が原則となります。(避難までの時間が無く、外に出ることが危険な時は垂直避難も可)
 ※最新の避難所開設状況を確認してください。



洪水ハザードマップ 7



浸水深の目安



凡例

- 想定される浸水深
- 5.0m以上～10.0m未満の区域
 - 3.0m以上～5.0m未満の区域
 - 0.5m以上～3.0m未満の区域
 - 0.5m未満の区域
 - 浸水実績 ※平成2・3・6年および12年(東海豪雨)の浸水範囲を重ね合わせたもの(内水はん溢等も含む)
 - 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)
 - 土砂災害警戒区域
 - 土砂災害特別警戒区域
 - 行政区画界
 - 人 避難所

※浸水の深さに関わらず、立ち退き避難が原則となります。(避難までの時間が無く、外に出ることが危険な時は垂直避難も可)
 ※最新の避難所開設状況を確認してください。

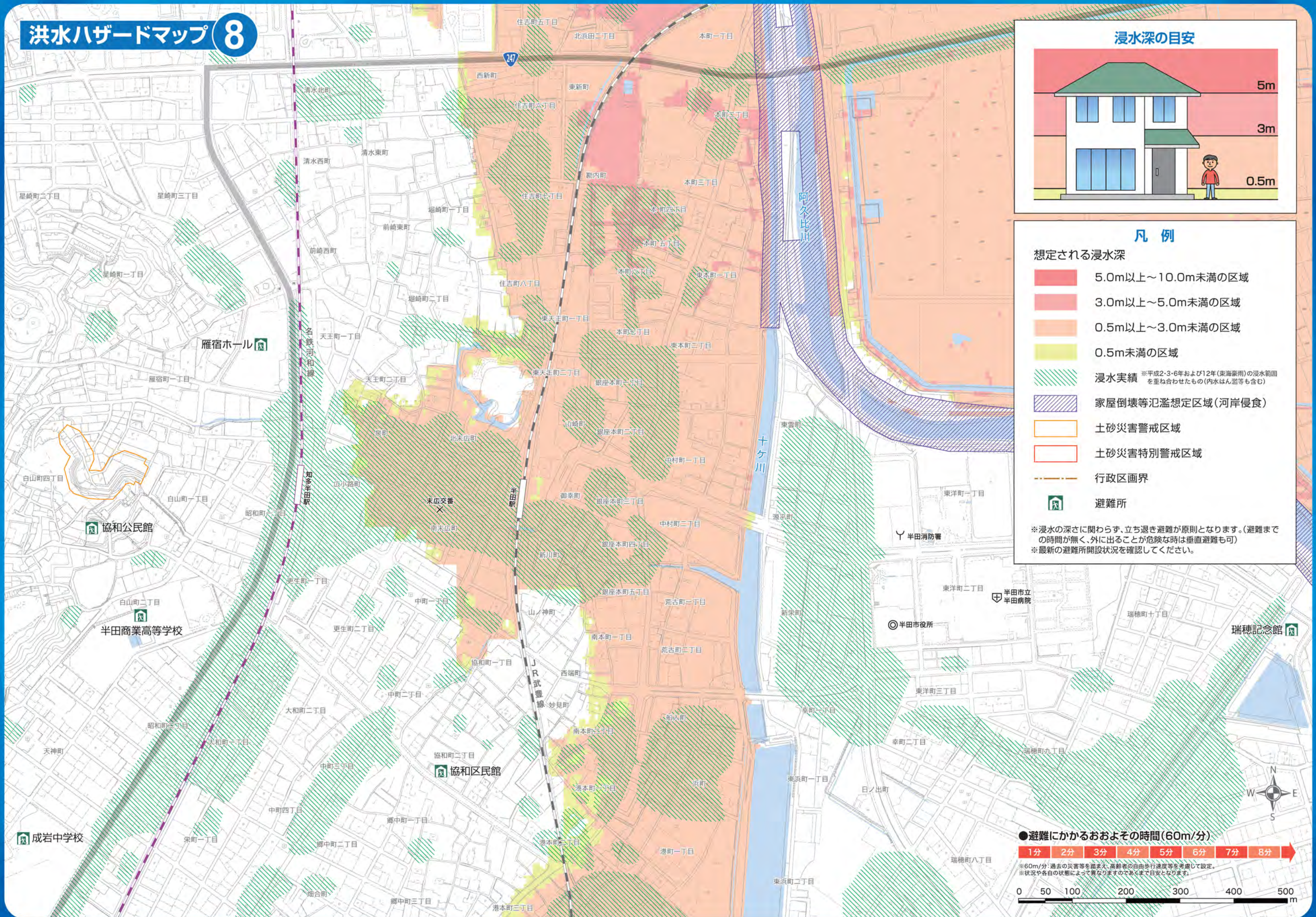
●避難にかかるおおよその時間(60m/分)



※60m/分:過去の災害等を踏まえ、高齢者の自由歩行速度等を考慮して設定。
 ※状況や各自の状態によって異なりますのであくまで目安となります。



洪水ハザードマップ 8



凡例

想定される浸水深

- 5.0m以上～10.0m未満の区域
- 3.0m以上～5.0m未満の区域
- 0.5m以上～3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域
- 浸水実績 ※平成2・3・6年および12年(東海豪雨)の浸水範囲を重ね合わせたもの(内水はん溢等も含む)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域
- 行政区画界
- 避難所

※浸水の深さに関わらず、立ち退き避難が原則となります。(避難までの時間が無く、外に出ることが危険な時は垂直避難も可)
※最新の避難所開設状況を確認してください。

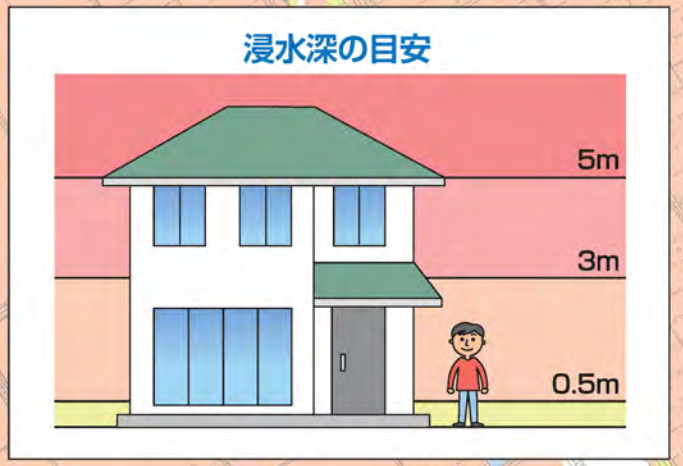
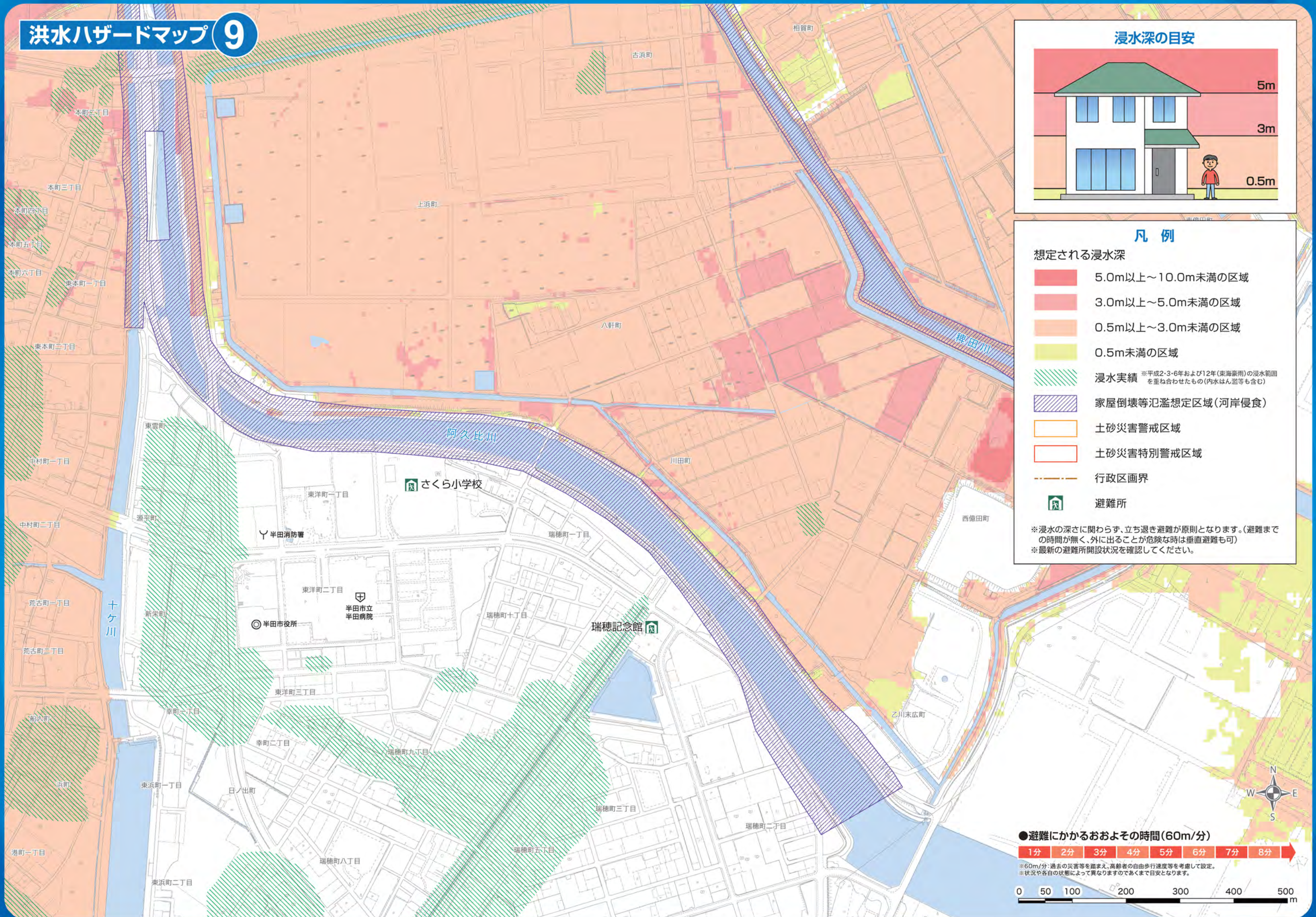
避難にかかるおおよその時間(60m/分)

1分 2分 3分 4分 5分 6分 7分 8分

※60m/分:過去の災害等を踏まえ、高齢者の自由歩行速度等を考慮して設定。
※状況や各自の状態によって異なりますのであくまで目安となります。

0 50 100 200 300 400 500 m

洪水ハザードマップ 9



凡例

想定される浸水深

- 5.0m以上～10.0m未満の区域
- 3.0m以上～5.0m未満の区域
- 0.5m以上～3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域
- 浸水実績 ※平成2・3・6年および12年(東海豪雨)の浸水範囲を重ね合わせたもの(内水はん濫等も含む)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域
- 行政区画界
- 避難所

※浸水の深さに関わらず、立ち退き避難が原則となります。(避難までの時間が無く、外に出ることが危険な時は垂直避難も可)
※最新の避難所開設状況を確認してください。

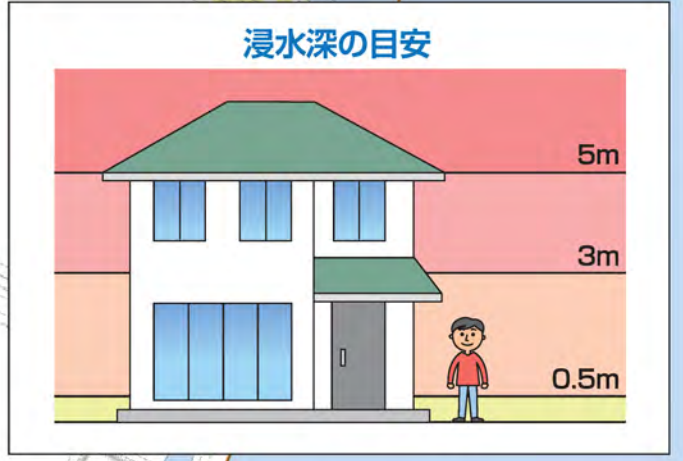
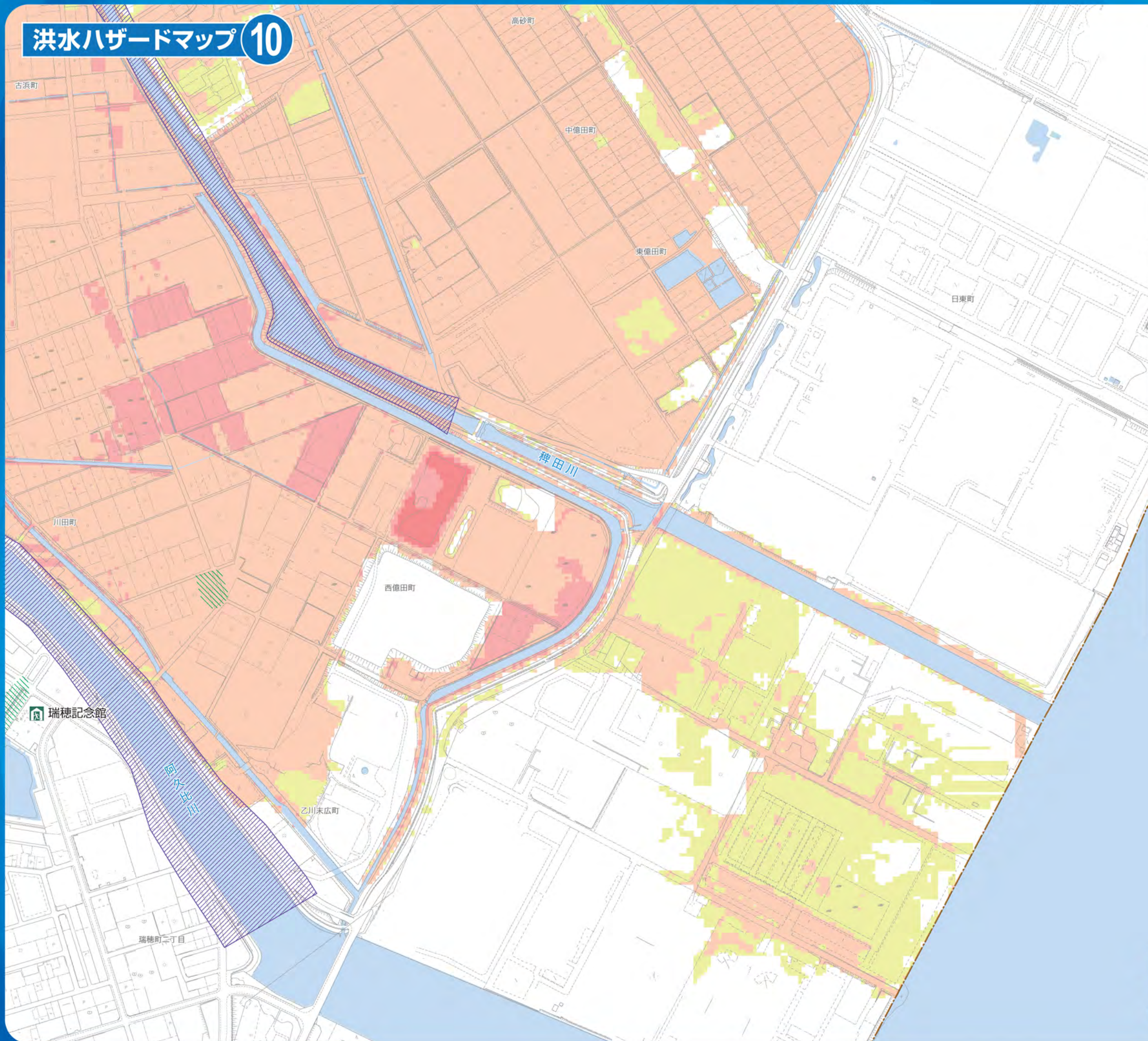
●避難にかかるおおよその時間(60m/分)

1分 2分 3分 4分 5分 6分 7分 8分

※60m/分:過去の災害等を踏まえ、高齢者の自由歩行速度等を考慮して設定。
※状況や各自の状態によって異なりますのであくまで目安となります。

0 50 100 200 300 400 500 m

洪水ハザードマップ 10



凡例

想定される浸水深

- 5.0m以上～10.0m未満の区域
- 3.0m以上～5.0m未満の区域
- 0.5m以上～3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

浸水実績 ※平成2・3・6年および12年(東海豪雨)の浸水範囲を重ね合わせたもの(内水はん溢等も含む)

家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

土砂災害警戒区域

土砂災害特別警戒区域

行政区画界

避難所

※浸水の深さに関わらず、立ち退き避難が原則となります。(避難までの時間が無く、外に出ることが危険な時は垂直避難も可)
 ※最新の避難所開設状況を確認してください。

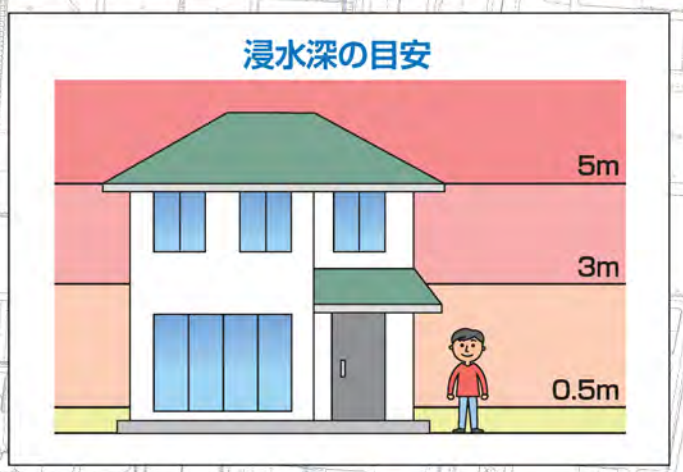
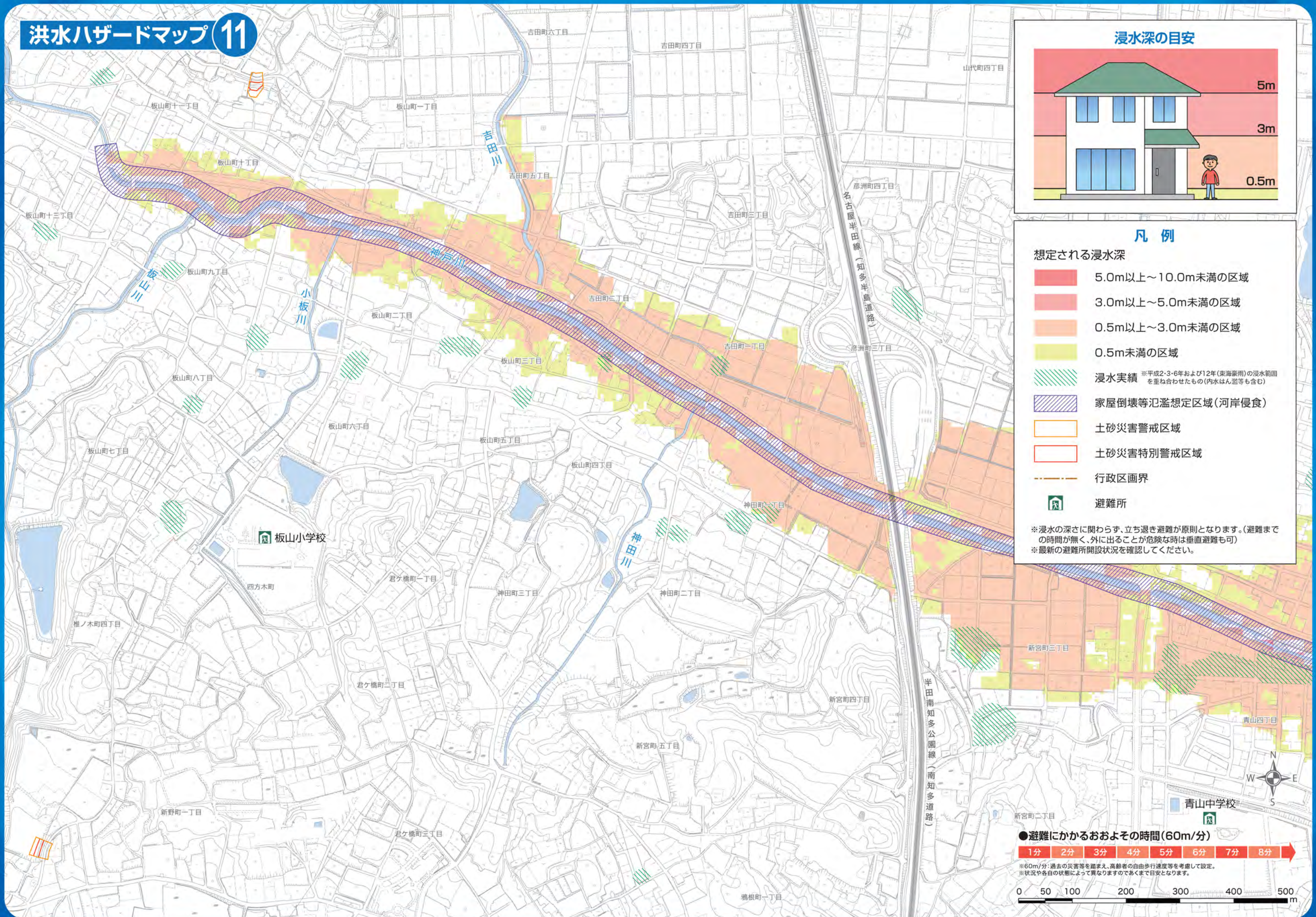
●避難にかかるおおよその時間(60m/分)

1分 2分 3分 4分 5分 6分 7分 8分

※60m/分:過去の災害等を踏まえ、高齢者の自由歩行速度等を考慮して設定。
 ※状況や各自の状態によって異なりますのであくまで目安となります。

0 50 100 200 300 400 500 m

洪水ハザードマップ 11



凡例

想定される浸水深

- 5.0m以上～10.0m未満の区域
- 3.0m以上～5.0m未満の区域
- 0.5m以上～3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

浸水実績 ※平成2・3・6年および12年(東海豪雨)の浸水範囲を重ね合わせたもの(内水はん濫等も含む)

家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

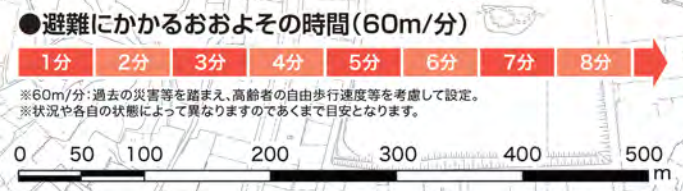
土砂災害警戒区域

土砂災害特別警戒区域

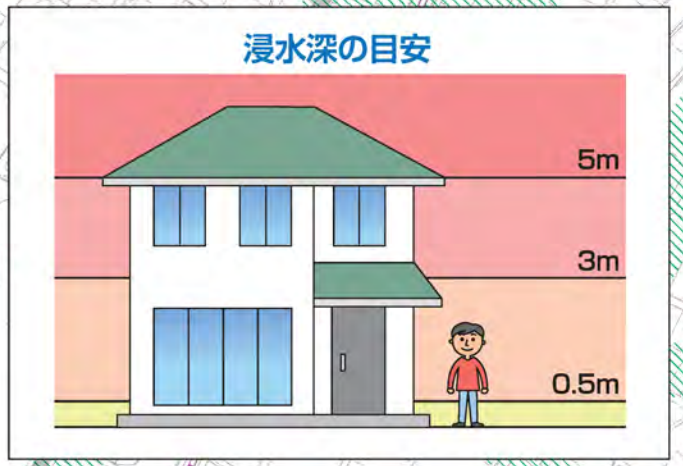
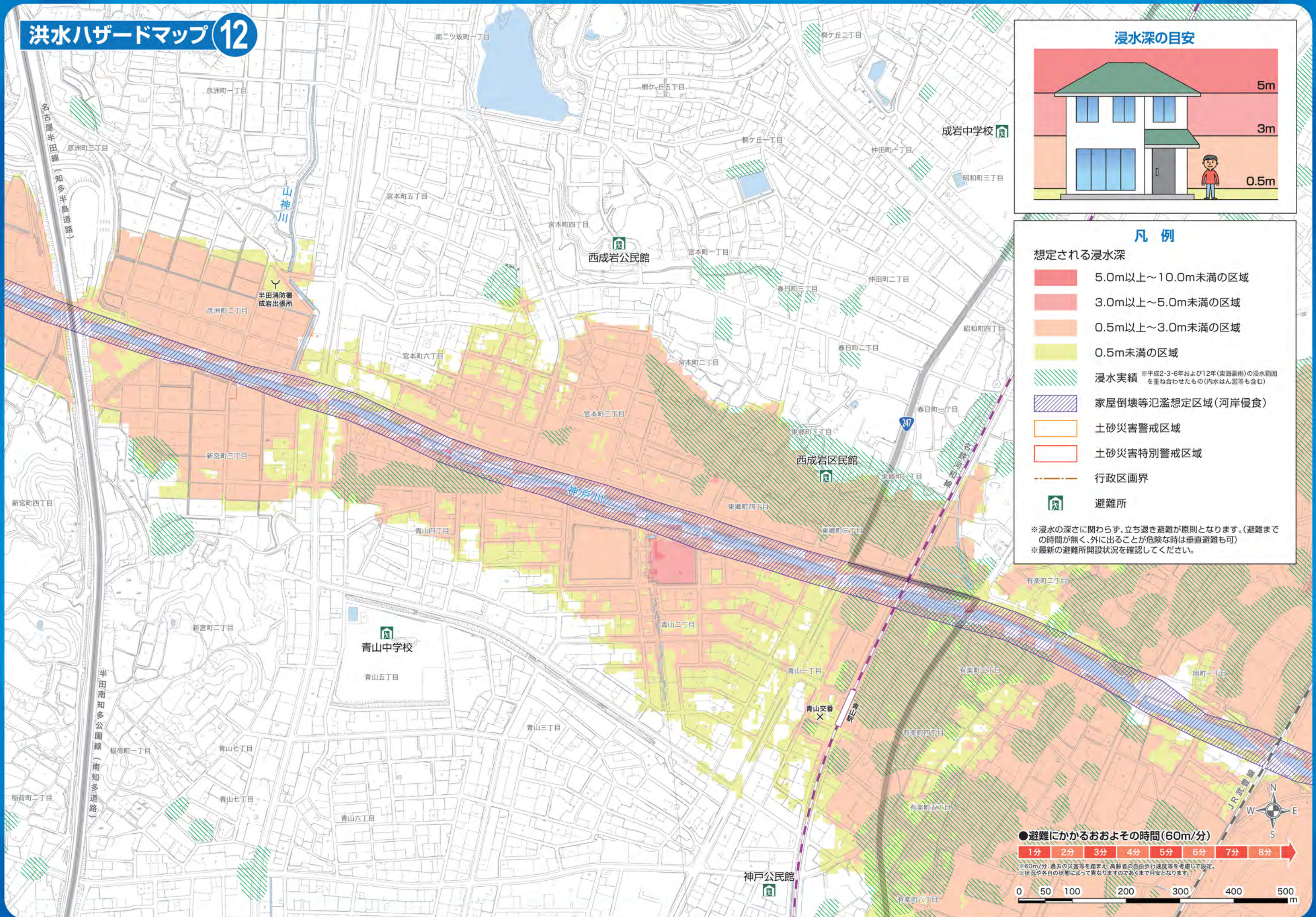
行政区画界

避難所

※浸水の深さに関わらず、立ち退き避難が原則となります。(避難までの時間が無く、外に出ることが危険な時は垂直避難も可)
※最新の避難所開設状況を確認してください。



洪水ハザードマップ 12



凡例

想定される浸水深

- 5.0m以上～10.0m未満の区域
- 3.0m以上～5.0m未満の区域
- 0.5m以上～3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

浸水実績 ※平成2・3・6年および12年(東海豪雨)の浸水範囲を重ね合わせたもの(内水はん濫等も含む)

家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

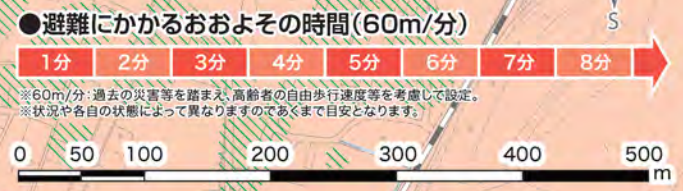
土砂災害警戒区域

土砂災害特別警戒区域

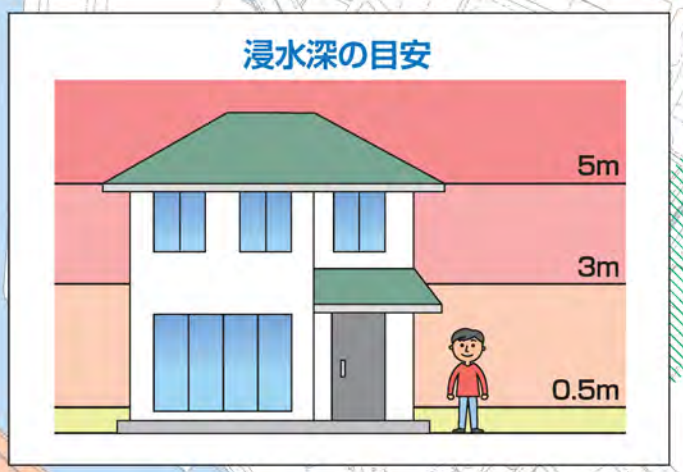
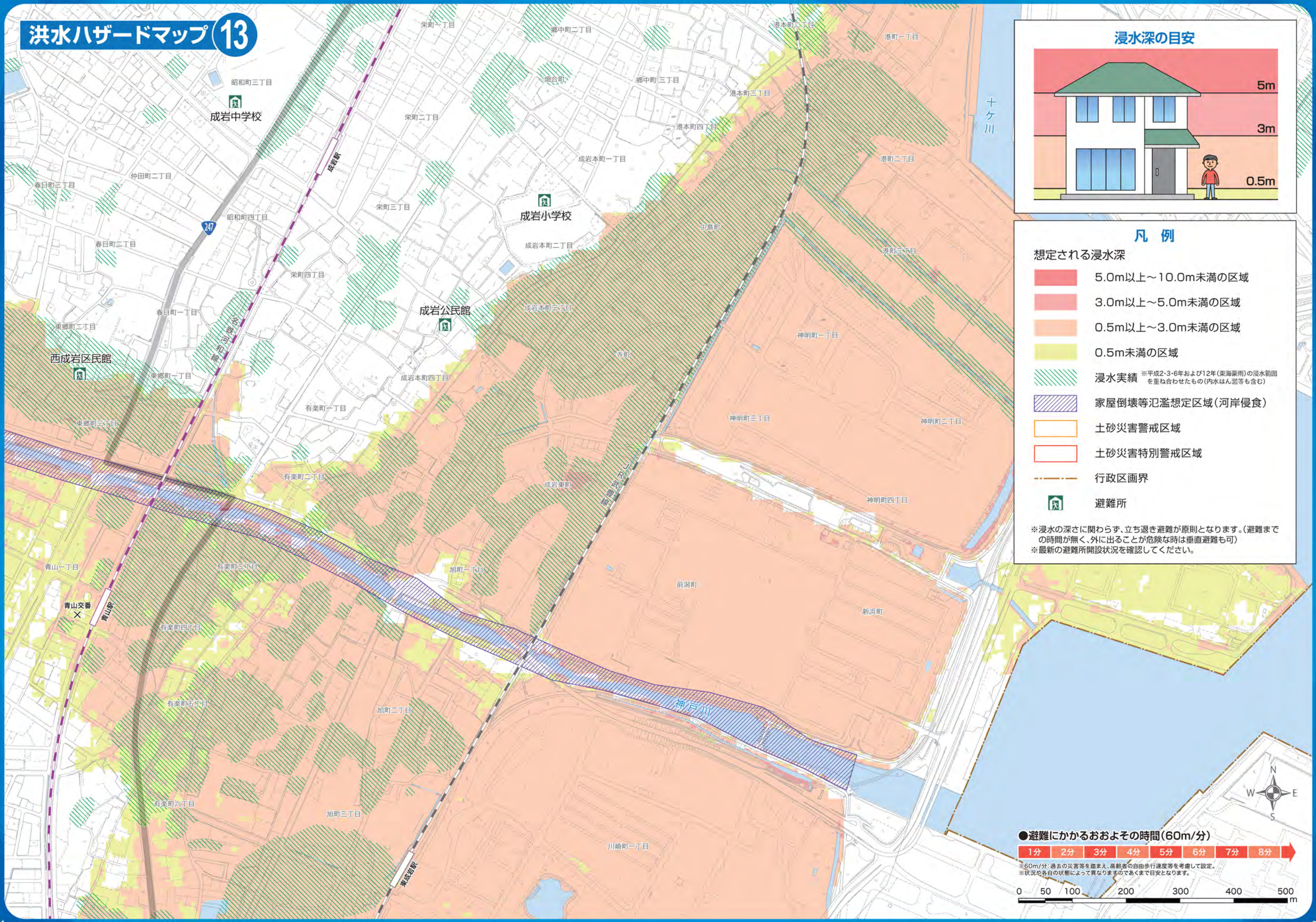
行政区画界

避難所

※浸水の深さに関わらず、立ち退き避難が原則となります。(避難までの時間が無く、外に出ることが危険な時は垂直避難も可)
 ※最新の避難所開設状況を確認してください。



洪水ハザードマップ 13

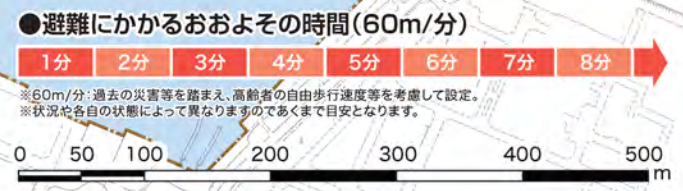


凡例

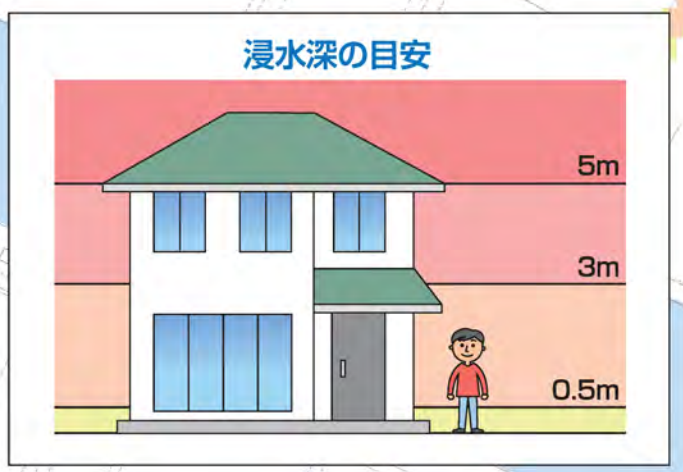
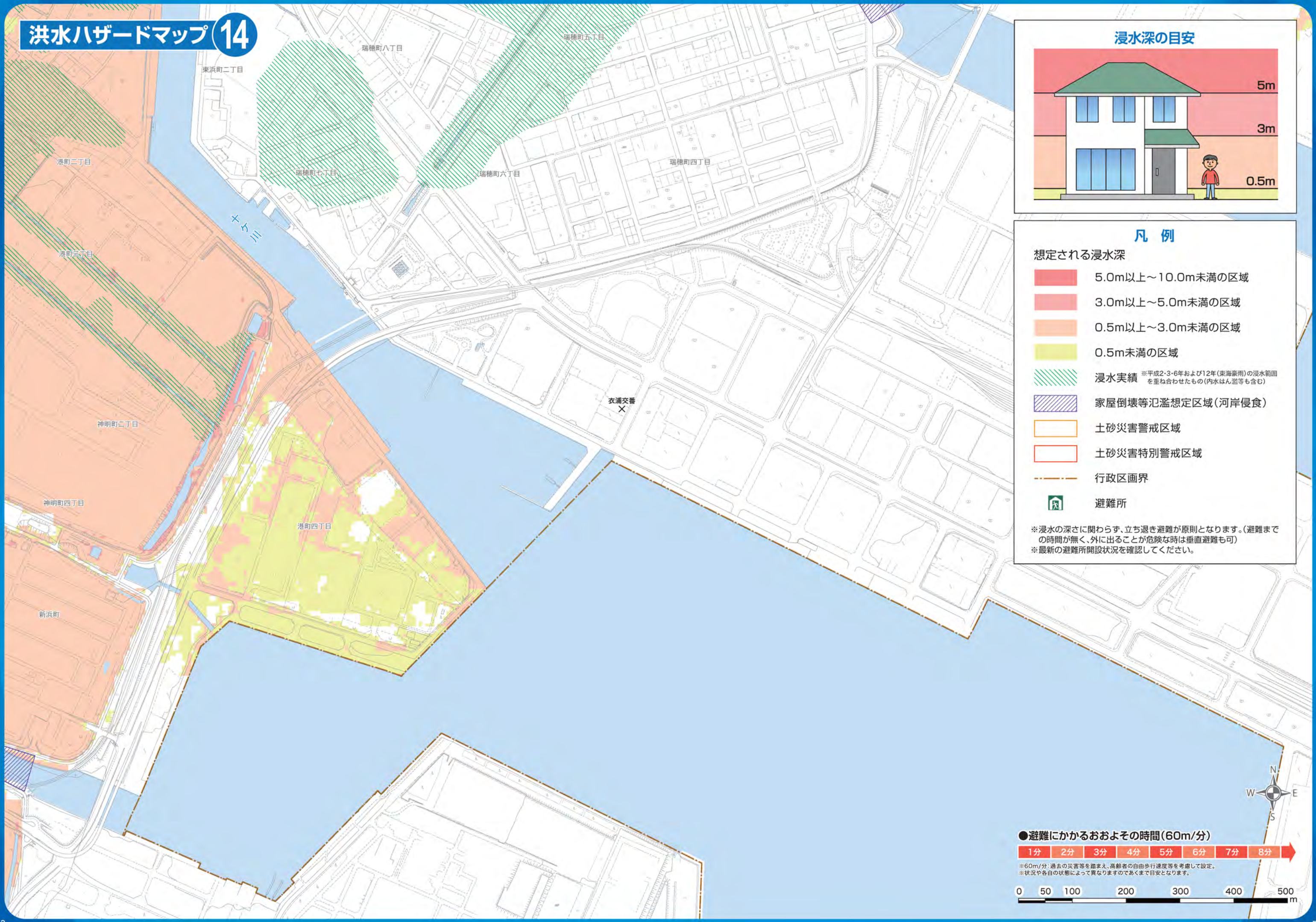
想定される浸水深

- 5.0m以上～10.0m未満の区域
- 3.0m以上～5.0m未満の区域
- 0.5m以上～3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域
- 浸水実績 ※平成2・3・6年および12年(東海豪雨)の浸水範囲を重ね合わせたもの(内水はん濫等も含む)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域
- 行政区画界
- 避難所

※浸水の深さに関わらず、立ち退き避難が原則となります。(避難までの時間が無く、外に出ることが危険な時は垂直避難も可)
 ※最新の避難所開設状況を確認してください。



洪水ハザードマップ 14



凡例

想定される浸水深

- 5.0m以上～10.0m未満の区域
- 3.0m以上～5.0m未満の区域
- 0.5m以上～3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

浸水実績 ※平成2・3・6年および12年(東海豪雨)の浸水範囲を重ね合わせたもの(内水はん溢等も含む)

家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

土砂災害警戒区域

土砂災害特別警戒区域

行政区画界

避難所

※浸水の深さに関わらず、立ち退き避難が原則となります。(避難までの時間が無く、外に出ることが危険な時は垂直避難も可)
 ※最新の避難所開設状況を確認してください。

●避難にかかるおおよその時間(60m/分)

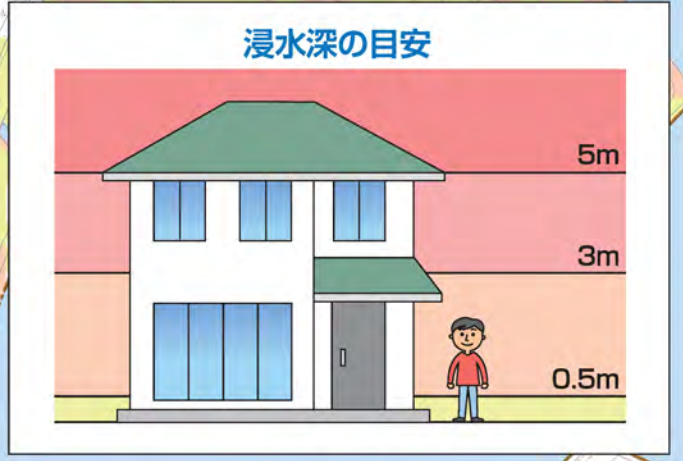
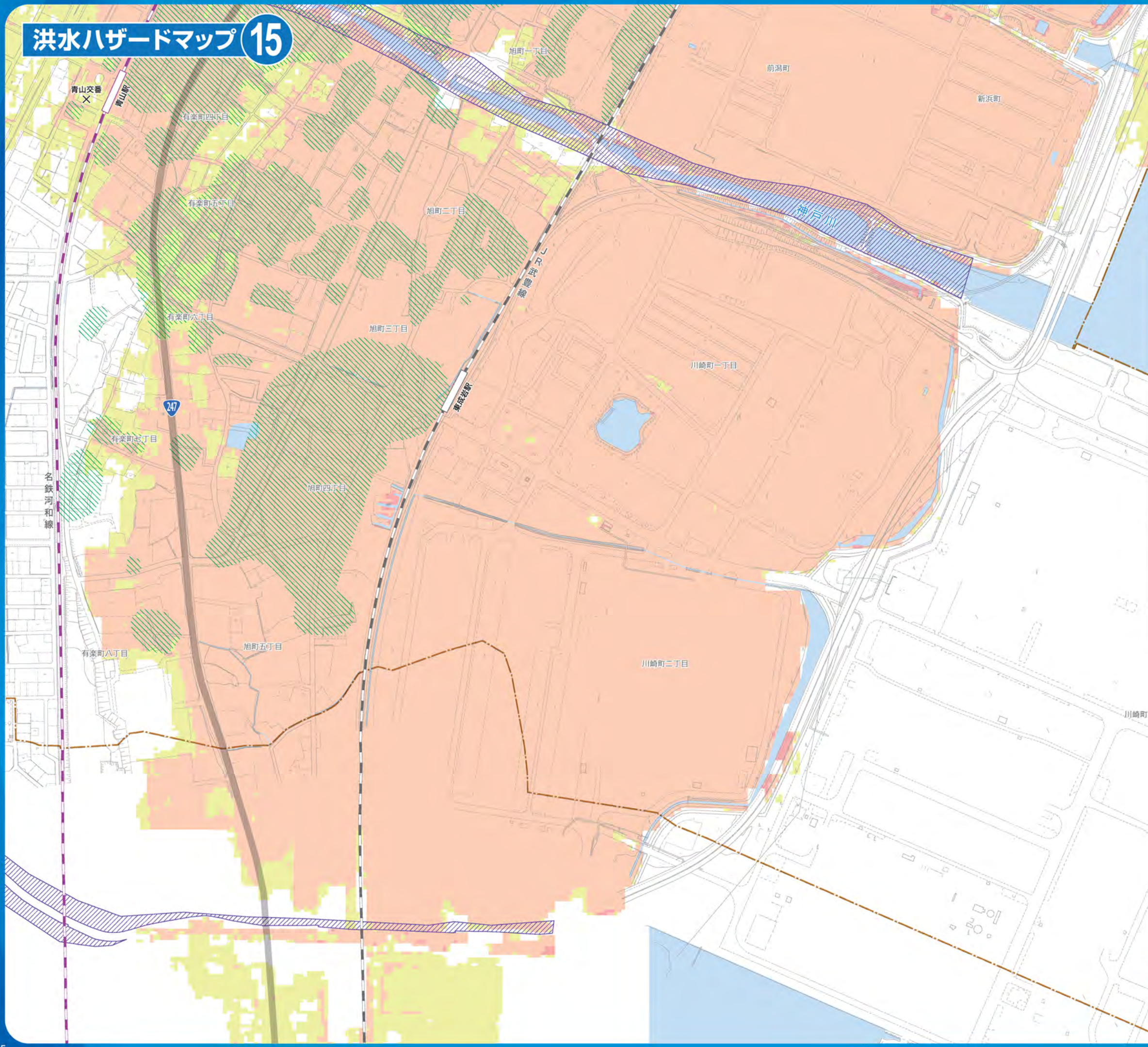
1分 2分 3分 4分 5分 6分 7分 8分

※60m/分:過去の災害等を踏まえ、高齢者の自由歩行速度等を考慮して設定。
 ※状況や各自の状態によって異なりますのであくまで目安となります。

0 50 100 200 300 400 500 m



洪水ハザードマップ 15



凡例

想定される浸水深

- 5.0m以上～10.0m未満の区域
- 3.0m以上～5.0m未満の区域
- 0.5m以上～3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

浸水実績 ※平成2・3・6年および12年(東海豪雨)の浸水範囲を重ね合わせたもの(内水はん濫等も含む)

家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

土砂災害警戒区域

土砂災害特別警戒区域

行政区画界

避難所

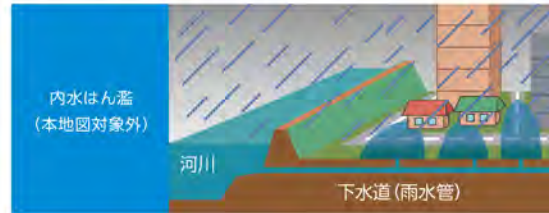
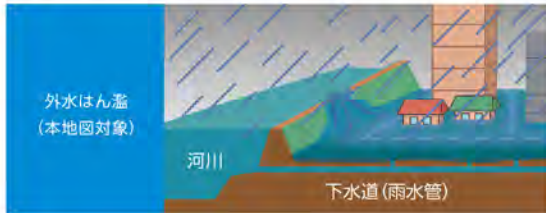
※浸水の深さに関わらず、立ち退き避難が原則となります。(避難までの時間が無く、外に出ることが危険な時は垂直避難も可)
※最新の避難所開設状況を確認してください。



洪水ハザードマップの補足説明

洪水とは

本ハザードマップでは、洪水により発生が予測される浸水を示しています。洪水とは、外水はん濫^{がいすいはんらん}ともいい、大雨が降った際に河川の流量が増大し、堤防から水が溢れたり堤防が壊れ、家屋や田畑が浸水することを指します。これに対して、流域に降った雨が河川に排出できずに発生する、内水はん濫^{ないすいはんらん}による浸水もあります(本ハザードマップには考慮していません)。



想定条件

本ハザードマップは、愛知県が検討した浸水予想図を基に作成しています。この浸水予想図は、半田市に関連する各河川において、想定最大規模の雨が降った場合を想定しています。

【二級河川】阿久比川水系／24時間総雨量821mm(阿久比川、十ヶ川、矢勝川、前田川、草木川、福山川、英比川の各流域)

【二級河川】稗田川水系、神戸川水系、石川水系、須賀川水系／24時間総雨量836mm

また、浸水予想図は、対象河川において堤防が壊れる地点を複数箇所想定し、各箇所から河川の水が流域に流れ出した状況をそれぞれシミュレーションし、それらの浸水範囲(最大浸水深)を重ね合わせたものです。なお、地図に示した浸水の予想される深さや範囲は、あくまで想定であり、実際の災害時には浸水の想定されていない地域においても浸水するなど、想定される水深が実際とは異なる場合があります。愛知県のホームページでも、浸水予想図(浸水想定区域図)を公表していますので、ご覧ください。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kasen/shinsuiyoso-05.html>

過去の災害

本ハザードマップには、過去の災害を参考とするため、当時の聞き取り等により作成した平成2・3・6年および12年(東海豪雨)の浸水実績(内水はん濫を含む)を重ね合わせて図示しています。より詳細な情報を確認する際は、半田市ホームページをご覧ください。

<https://www.city.handa.lg.jp/kotsu/bosai/bosai/map/map.html>

垂直避難

垂直避難とは、建物屋内の2階以上の安全を確保できる高さに移動することなどを言います。水害の危険性が高い場所にいる場合は、危険な状況になる前に避難所などへ避難すること(立ち退き避難)が望ましいですが、ゲリラ豪雨時や既に浸水が発生している場合など、状況によっては垂直避難をする方が安全な場合があります。

地下空間における水害特性

地下空間の浸水については、地上における浸水とは異なり、以下のような水害の特性がありますので、十分に気をつけてください。

地上の状況を把握しにくい

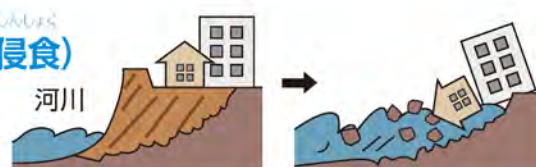
避難経路等が限定される

水圧でドアが開かなくなることがある

浸水開始後、時間の猶予が少ない

家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

堤防が侵食され、その背後にある家屋が流出・倒壊するおそれがある区域を示したものです。



コンクリート造でも倒れる